

1. 現状

町立学校では現在、クラウド型校務支援システムは未整備であり、令和 7 年度以降に構築・整備を予定している。これを軸に教育委員会・地域（保護者等）を含む学校教育ネットワークについては、次世代の校務デジタル化を支える環境として再構築することを検討する。

これまで、校務処理の業務に関しては、学習用クラウドツールや児童生徒・保護者連絡ツール以外において、包括するようなシステムやフローは特段整備されていない。GIGA スクール構想初期にセキュリティ確保のため、ネットワーク分離と校務環境の閉域化を実施したことに伴い、校務・業務の上で教職員が取り扱う環境（回線）が複数あることから、情報資産の運用・管理等で複雑化を呈している。また、ヘルプデスクや ICT 支援窓口もベンダーごとに多岐に渡ることから、教職員の利便性向上に結び付いているとは言い難い状況である。

このため、文科省が提唱する NEXT GIGA および校務デジタル化の構想を主軸に、鰯ヶ沢町学校 DX 実現に向けた課題を深堀・分析し、校務 DX 計画として環境整備を推進することとする。

3. 推進過程

校務 DX に係るおおよその推進過程は別表のとおりとする。

I 期では校務・授業への支援をスモールスタートで行う。また、並行して校務 DX 環境に対応するため、これまで町準拠としていた情報セキュリティポリシーを教育用に整備する構想の下、関連規則等の整備・改修に係る検討も進める。

II 期では校務支援システム整備に伴い、周辺システムの整備・更改やメールサービスの統合などを進める。また、後述する校務端末の 1 台化に伴い、アクセス制御等のセキュリティ対策を講じた上で、校務系と学習系で分離していた学校ネットワークの統合を図る。

III 期ではさらに働き方改革へ資するため、校務や業務に係る環境整備を推進する。

また、その他取組として、校務用端末の機器更新に伴い学習系との統合による 1 台化、ロケーションフリー化、機器の高機能化を行い、端末セキュリティに関しても文科省で求める多要素認証や端末管理システムを整備する。

(別表)

I 期（校務・授業の支援、規則整備）
①高速プリンター → 印刷機器を集約・高速化。ネット接続による自動保守管理
②大型掲示装置 → 整備による更なる授業等への活用
③教育情報セキュリティポリシー等 → 新たな環境運用のための検討
II 期（校務支援システム環境整備）
④校務支援システム（クラウド型） → データ統合による校務改善・効率化
⑤メールサービス → 学習用クラウドツールへの統合
⑥児童生徒・保護者連絡ツール更改 → ペーパーレス・教育委員会からの直接連絡
III 期（その他働き方改革に資する環境整備等）
⑦教育データ利活用・ダッシュボード → 整備・活用
⑧その他働き方改革に資する環境整備 → 出退勤管理、デジタル採点システムなど検討
その他
⑨指導者端末の機器更新 → ロケーションフリー化、高機能化
⑩端末セキュリティ → 多要素認証、端末管理
⑪校務端末の 1 台化 → ゼロトラストによるセキュリティ対策。ネットワーク統合

校務支援システム整備にあっては、児童生徒・保護者連絡ツール、その他データ連携ツール等との連携・接続を想定しながら、検討する必要がある。

また、FAX でのやり取りや、押印の見直しなど、業務改善を常に視野に入れつつ DX を推進し、校務の効率化・レスペーパーを図っていく予定である。

【鰯ヶ沢町教育委員会】

校務 DX 計画

令和 6 年 12 月

	R6	R7	R8
I 期	①高速プリンター ②大型掲示装置 ③教育情報セキュリティ ポリシー等 ※ネットワークアセスメント	②大型掲示装置 ③教育情報セキュリティ ポリシー等 (継続)	
II 期	予算要求	④校務支援システム（ク ラウド型） ⑤メールサービス	本稼働 ⑥児童生徒・保護者連絡 ツール
III 期		予算要求	⑦教育データ利活用・ダ ッシュボード ⑧その他働き方改革に資 する環境整備
その他	予算要求	⑨指導者端末の機器更新 ⑩端末セキュリティ ※1 人 1 台端末更新	⑪校務端末の 1 台化